

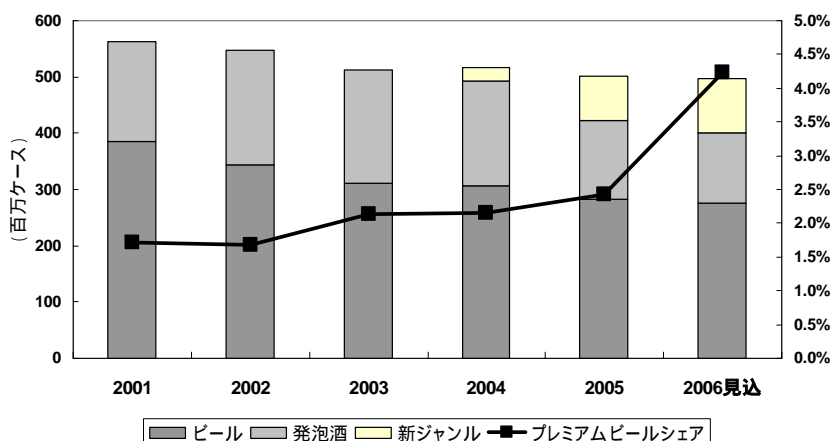
<ご参考資料>

プレミアムビール 市場の動向

ビール、発泡酒に新ジャンルを加えた総市場は、近年漸減傾向が続いていますが、プレミアムビール市場は順調に推移し、2001年には960万ケース（大瓶換算）だった販売数量が、2006年には2,100万ケースとなる見込みです（当社推定）。その結果、総市場におけるプレミアムビールのシェアは、2001年の1.7%から、2006年の4.2%へと大きく拡大するものと推定されます（下図参照）。2007年は、この勢いがさらに増し、約3,000万ケース規模になるものと見込んでいます。

ビール・発泡酒・新ジャンル市場(2001～2006年)

(ビール・発泡酒・新ジャンルは課税ベース、プレミアムビールシェアは当社推定)



当社プレミアムビール「ザ・プレミアム・モルツ」は、毎年欧州で開催される世界的な酒類・食品のコンテスト「モンドセレクション」ビール部門において2年連続最高金賞（GRAND GOLD MEDAL）を受賞し、1 - 10月で対前年5倍超、393万ケースと好調な販売を続けています。12月上旬にピークを迎える歳暮ギフトは、対前年2.8倍の30万ケースの販売を計画しており、2006年同商品の販売数量は、年初計画の500万ケースを上回るのは確実となりました。

今回、年末年始の需要期を控え、これまでの武蔵野、利根川、京都の3ビール工場に加えて、12月1日から新たに九州熊本工場での生産を開始し、万全の供給体制を整えるとともに、来年1月からは、新たに小容量のミニ缶を投入することにより（ニュースリリース No.9632 参照）好調な勢いをさらに加速させていきます。

定番ビールよりも店頭での実勢価格が高い商品、「ザ・プレミアム・モルツ」などをプレミアムビールと定義

以 上